

西園こども園の資質向上に関する情報を中心に掲載しています。

令和7年度は以下の点について重点的に取り組みました。

【読み聞かせ絵本】について考えました。

令和7年度は、保育の中の絵本の大切さや新しい絵本に出会う年にしたいと思い取り組みました。

担任の先生が、毎日たくさん絵本の読み聞かせをするので、令和7年は、先生たちからのリクエスト絵本を更にたくさん購入しました。保護者会からの寄付も絵本をたくさんいただきました。



絵本棚をどの職員でも、いつでも選びやすいように、どのクラスでも通る廊下の一部に配置してあります。

絵本の読み聞かせを通して、

- ・担任が読む声で安心して落ち着ける
- ・場面展開の時のいつも一緒の子どもたちの反応の楽しさ
- ・みんなで一つのものに集中する楽しさ
- ・クラスの子どもたちの共通の空間での安心感
- ・読み終えた時の満足感
- ・その他たくさん

色々な効果があると思います。

一番は、子どもたちと先生が楽しむ時間であってほしいなと思います。

それから、朝、お当番さんが人数報告の時に事務所へ来ます。その帰りに絵本棚の前を通るので担任の先生に読んでもらいたい絵本をお当番さんが選んでもいい！ということがとても嬉しいようで、この棚から数冊選ぶやり取りの声が廊下に響き毎朝楽しそうです。

毎日の生活に絵本は大切な役割があると思います。

先生たちの絵本の読み聞かせが、毎日楽しくてとても良い相乗効果をもたらすのを実感しました。絵本の魅力を伝えるのも私たち保育教諭の仕事でもあると思いますので、引き続き絵本を大切に日々の保育にも取り込んでいきたいなと思いました。